

2017年9月29日

360°VR アクションカメラ「360fly」を二輪マーケットで販売開始

フロンティアファクトリー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：奥田 哲生）は、同社が販売する 360 度 VR 対応アクションカメラ「360fly」（サンロクマルフライ）を、バイクパーツの製造販売を手がけて今年で 30 周年を迎える有限会社サインハウス（本社：東京都世田谷区、代表取締役：白松 和豊）との業務提携により、二輪マーケットで流通、販売展開を開始します。

弊社は「360fly」を 360 度撮影と撮影動画の VR 視聴が可能な新しいアクションカメラとして、2016 年 12 月から日本国内で販売を開始しました。そのクールな球体デザインと防水・防塵・耐衝撃のアクティブ性能により、発売当社からモータースポーツ関係者ならびにファンの皆さまから高い評価をいただきましたが、その中でもサインハウスはいち早く 360fly とバイクの親和性に注目されていました。偶然にも、360fly による鈴鹿サーキットのモータースポーツファン感謝デーにおける鈴鹿 8 耐プロモーション用 VR コンテンツの撮影に同社の二輪用デバイスマウントシステムを採用していたというご縁もあり、二輪マーケットに精通している同社との業務提携に至りました。

この度の業務提携により、より多くのライダーやバイクファンの皆さまに、360fly で新しい走行動画の楽しみを体験していただきたいと願っています。

取扱商品ラインナップについては、サインハウスのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.bolt.co.jp/>

■ 360fly シリーズ 概要

360fly はマサチューセッツ工科大学とならぶ米国屈指の名門工科大学であるカーネギーメロン大学のロボット研究所で誕生し、映像撮影の革新と映像表現の可能性を拡大するため、ロボット開発用に蓄積されたテクノロジーを転用し、開発されました。広い視野角（H360°× V240°）を持つ超ワイドアングルレンズをひとつと、バッテリー、メモリー、各種センサーなどの撮影に必要なすべての機能を個性的な球体形状のボディーに搭載したオールインワンの 360°VR アクションカメラです。ひとつのレンズだからこそ、継ぎ目もソフト処理による不自然な補正や合成も存在しない、ありのままの臨場感ある 360°映像を撮影できます。



360fly は無料の専用アプリ「360fly」（iOS、Android 対応）ですべてをコントロールでき、スマートフォンをライブビューファインダーにした撮影やリモート操作はもちろん、撮影した映像への効果や音声トラックの追加といった編集までもできます。さらに、それをダイレクトに YouTube、Facebook などの SNS にアップしてインタラクティブ 360°映像として共有できます。また撮影した映像をアプリからワンタップで VR に変換でき、一般的な VR ヘッドセットを使って簡単に VR で楽しめます。パソコンでの映像編集や管理には、無料のデスクトップアプリ「360fly Director」（Windows、Mac 対応）もあります。ゴルフボールをひと回り大きくしたような直径約 6 cm のコンパクトなボディーには、防水、防塵、耐衝撃、耐低温というタフな性能を備え、どこへでも持って行きアクティブな撮影ができます。本体底部に 1/4-20UNC 規格（メス）対応のアクセサリ取り付け穴を搭載し、日本国内で流通している一般的なカメラ/ビデオ用の三脚や撮影用アクセサリにマウントできます。

<掲載用連絡先>

フロンティアファクトリー株式会社
<http://www.frontierfactory.co.jp/>

360fly 公式サイト
<http://shop360fly.jp/>

360fly Facebook
<https://www.facebook.com/360flyJapan/>

<プレスからのお問い合わせ>

フロンティアファクトリー株式会社
東京都千代田区一番町 20-3 プレミエール一番町 101
広報担当：橋本 pr@frontierfactory.co.jp